

施策：	24	快適な生活環境の促進	財務コード	01040106-02-00
基本事業：	02	ペットの適正飼育の推進	担当部	環境経済部
基本事業の成果指標	狂犬病予防注射接種率 ペット、小動物に関する苦情・トラブル件数		担当課	環境課
			担当係	環境保全・廃棄物



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	昭和48年度 ~		新規・継続	継続	会計区分		実施計画		
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）						
畜犬の飼い主			・犬の登録事務 新規登録 犬の所有者や所在地等を登録 登録抹消 犬の死亡による届出 変更登録 所有者等の変更 鑑札の交付 狂犬病予防接種済票の交付 ・狂犬病予防注射の集団接種 4～5月にかけ実施						
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）			4. 成果（簡易評価は未記入）						
・畜犬登録、予防注射により、狂犬病の発生を予防する。									
成果指標名称	単位	02年度実績	03年度実績	04年度当初	05年度要求	06年度計画	07年度計画	目標	
予防接種等畜犬の適正飼養に関する啓発物資の配付箇所数	箇所	26	25	30	30			30	
しつけ方教室参加者数	人	0	0	20	20			20	
5. コスト									
事業費	計	千円	1,108	1,158	842	675			
	国	千円			0	0			
	県	千円			0	0			
	地方債	千円			0	0			
	その他一般	千円	1,108	1,158	842	675			
正職員人工数	人工	0.8	0.8	0.8	0.9				
正職員人件費	千円	6,423	6,337	6,182					
トータルコスト(事業費+正職員人件費)	千円	7,531	7,495	7,024	675				
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）									
あがっている  どちらかといえばあがっている  あがっていない（停滞・低下）	啓発物資の配布箇所数が、1箇所減少し、しつけ方教室も、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催できなかった。 コロナ禍ではあったが、日曜日の狂犬病予防集団注射を行ったり、啓発を続けた結果、注射接種数、接種率ともに上昇している。								
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）									
対象動向	維持	類似事業	なし						
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし						
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし						
上位貢献度	影響度は中	業務推進課題	あり						
成果向上余地	小さい								
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）					改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）									
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）									
昭和48年 畜犬管理条例制定 令和4年6月1日 犬・猫へのマイクロチップの装着・登録の義務化									
備考・特記事項 or 進行管理欄									